

令和3年度 GLEP 海外インターンシップ報告書

学部：国際商経

学年：2

対象国：アメリカ

氏名：永阪万理

期間：2/16～3/23 土日祝を除く

1日3時間 計51時間

● インターンシップ参加の動機

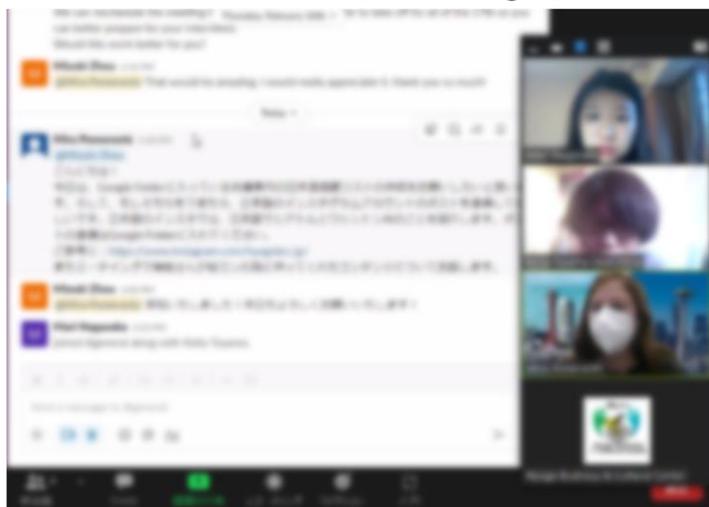
このインターンシップに申し込んだ理由は、自分の人生に良い変化を与えてくださった兵庫県事務所のために何か出来ないか、また、私のように国際交流に興味を持つ子供が増えるように何かしたいと思ったからです。また、このインターンシップに参加することは副専攻のGLEPに入った理由の1つでした。

私は、中学3年生と高校1年生の計2回、アメリカのワシントン州でホームステイを経験しました。2回とも、シアトルにある兵庫県事務所を訪問しました。私は、中学3年生の頃、とても不安でしたが、勇気を振り絞って応募し、研修に参加することが決まりました。その時の経験を通して、もっと異文化交流や国際交流をしたいと思うようになりました。そして、その翌年、高校の姉妹校のホームステイに参加し、高校生頃に訪れた際、ちょうど兵庫県立大学の先輩がインターンシップに参加されていて、私たち高校生にインターンシップの話を楽しそうにしている姿がとても印象的でした。

国際交流に興味を持ったのは、兵庫県事務所がシアトルにあり、交流する機会を作ってくくださったおかげで、今度は、私も働く側になってみたいと思い、応募しました。

● インターンシップ内容

インターンシップでの業務内容は①兵庫県ワシントン州事務所の新しいホームページの邦訳（英語から日本語に翻訳）、②兵庫県ワシントン州事務所のInstagramのアカウントに英語で兵庫県や日本をPRする投稿の作成、③人口、日本酒輸出量、日本食レストランなどの北米EU比較表の作成、④米国の大学生が来日して、大阪や京都に行った後、ついでに兵庫を観光で回ってもらうときのお勧めの旅行プラン（3泊4日、5泊6日 計2つ）の作成の4つをさせていただきました。Slackというアプリケーションで業務連絡や進捗状況などの共有、仕事始めと仕事終わりにあいさつの言葉を送信する事で、一緒の空間で働いているような気持ちになりました。また、Slackでの会話やZoomによるミーティングは、奇数日、偶数日で使用言語が異なっていたので、2日に1回日本語で、2日に1回英語でした。



<Slack の使い方について説明を受けている様子>

①HBCC（兵庫県ワシントン州事務所）の新しいホームページの邦訳

プライバシーポリシー、兵庫県の概要、兵庫の歴史、兵庫の産業、兵庫の文化、ジャパンウィーク、サクラコン、JET プログラムについて英語で書かれた文章を日本語に翻訳しました。

②HBCC の Instagram に兵庫、日本の魅力を伝える投稿作成

- ・ atoa（神戸市内の水族館）について
- ・ ひな祭りについて
- ・ 梅の花について
- ・ 試（姫路市内の日本酒バー）について 計 4 つの投稿を作成

③北米 EU 比較表の作成

人口、GDP、日本の日本酒、牛肉輸出量、レストランの数、日本食レストランの数を調査しました。

④米国大学生向け、兵庫県ツアープラン作成（パワーポイント）

歴史・文化・背景を学ぶ体験、環境に配慮したサステナブルな旅、ウェルネスやアウトドアアクティビティ等、米国の若者が興味を持ちそうな切り口で構成する事を意識したプランにしました。

3泊4日 自然に触れる事をコンセプトにしたプラン

「三木市（ネスタリゾート）→神戸市→姫路市→たつの市→宍粟市」

5泊6日 自然に触れ、兵庫の歴史と文化を知るプラン

「丹波市→宝塚市→神戸市→淡路島→姫路市→たつの市→佐用市」

また、2/16, 3/2, 3/23 の計 3 回 7:00（日本時間）から 1 時間ミーティングに参加しました。

ミーティングを通して、インターン生も含め、それぞれの実施状況を共有し、今後の予定について話し合うので、毎回内容が盛り沢山でした。



< 日本酒のイベントの様子 >

2/18、11:00~12:00（日本時間）の 1 時間、日本酒福寿のオンラインイベントに参加しました。兵庫県は日本酒の生産量が日本一、日本にとってアメリカ合衆国は日本酒の輸出国 1 位であったので、（現在は中国や香港が 1 位とのこと）兵庫県の日本酒をもっと知ってもらおうとするために開かれたイベントの 1 つでした。福寿は、ノーベル賞公式行事の提供酒であり、世界的に知られています。

蔵人の方が、酒蔵の色々な場所を紹介し、参加したアメリカ人の方々は沢山質問をされていて、とても真剣でした。最後に参加者がそれぞれ福寿を試飲して、何がお酒のつまみになるのかで盛り上がっていて、

聞いていてとても面白かったです。

● 学んだこと、得たこと

このインターンシップを通して、3つのことを学びました。まず、私は朝方の方が向いているという事です。毎朝7時からインターンが始まり、インターン前は夜更かしをしがちで、インターンに間に合うように朝起きることが出来るか不安でしたが、朝に頭がフル回転できるように早寝早起きを意識してみると、以前より頭が活性化された気がしました。残り数回になると、目覚まし時計よりも早く目覚める事も出来たので、この調子で生活リズムを整えていきたいと思いました。

2つ目は、英語は直訳するのではなく、意味を考えることの大切さを学びました。ホームページを邦訳する際に、知っている熟語や意味で英文を訳すと、読んでいてしっくりこない文章になる事が多かったので、辞書を引いて、他の訳し方がないか調べ、また書かれている話題が日本語で書かれているサイトなどを探し、その話題についても理解するように心掛けました。

3つ目は、時間管理について学びました。私自身、とてもマイペースでこだわるところは徹底的にこだわって、よりよいものを作り上げたいと思っています。こだわりすぎるがゆえ、今回プランの作成が締め切りに間に合わなくて、とても悔しい思いをしました。高校生までは、1つの正解を考える勉強だったのに対し、大学からの学びでは、正解は1つではないので、まだまだ苦戦中です。これからは、期限がいつまでで、どのように進めていけばよいのかを考えてから取り組んでいきたいと思いました。

● 印象に残ったこと

私は、兵庫県に長い間住んでいるのですが、業務を進めていく中で兵庫県について知らないことが沢山出てきました。特に知って驚いたことは、日本酒です。日本酒の生産量が日本で一番、さらにはアメリカ人が日本酒にとっても興味がある様子をオンラインイベントで見て、驚きました。もっと兵庫県の知らないことを知って、他県、外国の人にアピールしていきたいと思いました。



<日本酒のイベントの様子>

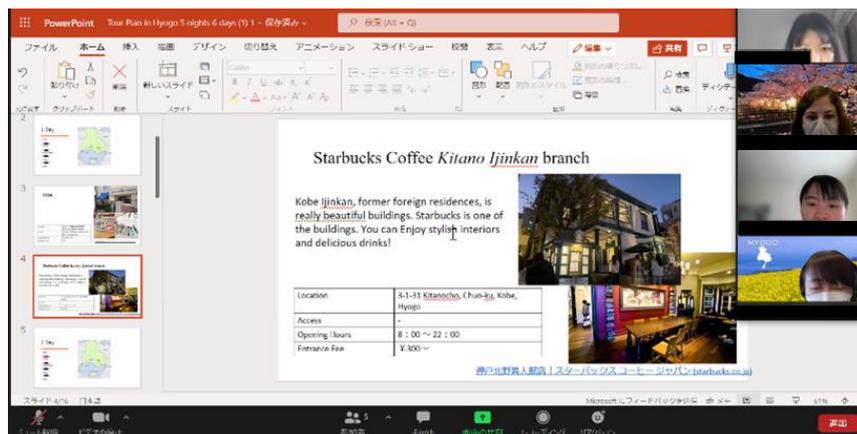
また、私たち県大生以外にワシントン大学の学生の方もインターンに参加されていました。私たちと異なる業務をされていましたが、ワシントン大学の学生の方は、とても作業が早くて、作成された資料についていつも所長や副所長から賞賛を受けられていました。その姿をお手本にさせていただき、私ももっと頑張ろうというモチベーションが上がりました。

● 苦勞したこと

米国の大学生のための兵庫の旅行プランの作成に苦勞しました。米国の大学生がどのような事に興味を持ち、流行しているのかを詳しく知らず、さらに私自身、兵庫県出身ですが、県内で行ったことのない地域もあり、土地勘がなく、どのように行けばよいのか、分からないことだらけで、とても苦勞しま

した。

そこで、アメリカ人の友達のInstagramや、YouTubeでアメリカの大学生の投稿を見て、トレンドを学び、メンタルヘルスに気をつけている事に気づきました。また、兵庫県の観光を投稿しているYouTuberの動画を沢山閲覧して、兵庫のお勧めスポットの調査をしました。目的地から目的地のアクセス方法をグー



＜作成したプランをミーティングで発表する様子＞

ルマップで随時検索し、どの方法が最も良いのか、訪問順、宿泊地、費用など、細かいところまで考えることで、とても頭を使いましたが、満足する旅行プランを提案することが出来てよかったです。

● インターンシップ参加に当たって必要な語学力・スキル

- ・読み書きの英語力：もちろん、リスニング、スピーキング能力も重要ですが、業務を素早くこなすために、即座に英語で書かれている文章を読解する能力や、英文を作ることが大事だと感じました。
- ・パソコンのスキル：グーグルアカウントやSlackというアプリケーション、パワーポイント、エクセルなどを用いて、業務を進めたり、兵庫県ワシントン州事務所の方々に進捗状況を報告したりするので、業務を素早くこなすためには、少しでもパソコンを操作できるスキルを持っておいたほうが良いと思われます。

● この経験を今後どう活かしていくか

今回、色々なことを学ばせていただきましたが、この経験を特に2つのことに活かします。1つ目は兵庫県について沢山学ばせていただいたので、他県の人、外国の人に兵庫の魅力を沢山アピールしていきたいです。先日、アルバイトをしている神戸市内の飲食店にハワイから来日してきた方が来店し、「近くのお勧めのスポットを教えてください。」と言われました。今回県内の旅行プランを作成していたので、その経験を早速活かすことが出来ました。また、今後やりたいことのひとつが、過疎化が進み、田畑が余ってしまうような地元をプロモーションなどで盛り上げることなので、このような旅行のプラン作りの経験を活かして、考えていきたいです。

2つ目は、英語です。Instagramの投稿や、Slackで使用した私の英語に対して、副所長が「このように表現すればもっと良いよ」とネイティブが使う英語を沢山教えてくださいました。すると、忘れてしまっていた表現や言葉を思い出し、英語を使う事が楽しくなって、次はこの表現を使ってみようと、モチベーションが上がりました。GLEPの修了要件に、CEFR B2を取得する必要があるなので、卒業までに取得できるように励みたいです。

● 後輩へのメッセージ

皆さんがこのアメリカインターンシップに参加しようとしている時には、オンラインか、現地に行っ

て体験するのか、分かりません。現地の場合なら、パイクプレイス・マーケットに行って第一号店のスターバックスに行くのもよし、カラフルなガラスのアートが見られるチフリー・ガーデン・アンド・ガラスに行くのもよし、ワシントン大学に行って、桜を見ることもお勧めです。オンラインなら、費用がかからず、カルチャーショック、ホームシックに悩まずに業務を全うできるので、業務時間が終わったら、好きな事をしてください。アメリカのドラマを鑑賞したり、ハンバーガーを食べに行ったりして、アメリカ気分を味わうこともお勧めです。参加するか迷っていたら、とりあえず応募してみてください。

このインターンは、GLEP の履修生限定で参加することが出来ます。まず、このインターンに興味があれば、GLEP に入ってください。GLEP は副専攻であるため、主専攻の勉強に加えて、講義の履修やフィールドワークに、課題などもあり、大変だなと感じる事もあります。しかし、そこには一緒に頑張る仲間がいます。何事にも一生懸命取り組む友人、チャレンジ精神があって、とことん挑戦する友人、良い刺激を与えてくれる仲間に出会えて、充実した学生生活を送っています。

ぜひ、GLEP で素敵な仲間に出会い、このインターンシップに参加してください!!!

